

業務部速報

No. 71

発行 15. 4. 14

JR東労組 業務部

申29号

旅行業部門におけるマーケットに合わせた店舗展開に関する 解明申し入れ提出

申18号団体交渉で会社が示した『びゅうプラザの将来展望』

店舗運営を(株)びゅうトラベルサービス(以下「VTS」。)に移管

【申し入れの背景】

びゅうプラザで働く組合員は、時代の荒波の中で働く環境の変化を強いられてきました。2月25日の申18号団体交渉において、「店舗は重要な位置づけであること」、「新販売拠点の位置づけは変わらないこと」を確認しましたが、今回示された将来展望は、環境の変化を再び強いることとなるものです。

したがって、旅行業部門で働く組合員の不安を解消し、働きがいを向上するため以下の申し入れを行いました。

【びゅうプラザの経緯】

1992年 総合旅行業を目指し駅から独立
1999年 収支均衡5ヵ年計画
契約社員の導入
2003年 旅行業の黒字化
2007年~ 「NF2008 今後の駅のあり方」
駅との再度統合
新販売拠点の設置
一部店舗廃止 など

【解明申し入れ項目(要旨)】

- 度重なる変化に対応してきた旅行業の成果と課題、及び経営戦略
- 旅行商品を販売する店舗の必要性、及び店舗とオンラインの販売比率目標
- 店舗運営をVTSへ移管する根拠・目的及び全体スケジュール
- 既存型びゅうプラザ店舗の今後の店舗展開
- びゅうプラザにおいて発生している要員不足に対する認識と、当面の具体策
- 「訪日外国人向け店舗」、「ハイクオリティ型店舗」、「地方ワンストップ型店舗」を、新設・増設する目的、及び各店舗の概要と今後の店舗展開
- 新販売拠点の将来展望、及びローカウンターを業務移管した後の指揮命令系統
- 提携販売センター、びゅうWebセンター、団体旅行センターなどの将来展望
- 業務移管に伴う移動や出向についての考え方。また、びゅうプラザで働くグリーンスタッフの将来展望
- VTSの労働条件および福利厚生

旅行業で働く組合員の働きがいの向上のため、職場からの議論をつくりだそう!!